

第19回東北中学生・高校生ボウリング選手権大会における 新型コロナウイルス感染症予防策について（お願い）

福島県ボウリング連盟

当連盟では、今年度の主催・主管する大会・イベントにおいて、JBC 新型コロナウイルス感染症予防策ガイドライン（感染予防のための基本姿勢、感染予防策）に準じて適用します。

参加の皆様におかれましては、くれぐれも体調管理に努められ、当日万全にてご参加いただけるようご祈念申し上げます。

【感染予防のための基本姿勢】

体調がよくない場合（例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合）は、自主的に参加を見合わせてください。イベント参加前2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等に、ついて事務局まで報告してください。イベント前後のミーティング等においても、3つの密（密閉・密集・密接）を避けてください。

【参加者への感染予防策のお願い：共通】

全般

- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（最低1m、最高2m）の維持を確保する。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- 参加者はマスクを持参のうえ、会場内では原則として着用する。
- 他者との距離を2m取れない場合は、お互いにマスクをする。
- 極力、顔に触れない。（触れる前には手指を消毒する）ドアノブや手すりなど極力触れない。

＜入場時・館内移動＞

- 間隔を空けて並ぶ。
- 初回入場時に所定の「新型コロナウイルス感染症リスクチェックリスト&同意書」を提出する。
- 入場口に設置したアルコール消毒液等で、手をこまめに消毒する。

＜ボール登録時＞

- 間隔を空けて並ぶ。
- 事前に郵送しますので必要事項を記入の上、「ボール検査合格証」と一緒に提出する。
係員が点検の上、競技中に監督に返却いたします。

※ なお、当日は上記の通り間隔を空けて並ぶなど可能な範囲事前に済ませてご参加ください。

<洗面所利用>

- 手洗いは30秒以上、石鹸を使って行う。
- ジェットタオル（風で水滴を吹き飛ばすもの）は使用を禁止とする。ペーパータオルもしくは各自のハンカチ・タオルを使用する。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流す。

<投球中>

- 競技開始前の挨拶では、握手はしない。
- マスクを着用しての競技を認める。
- ハンドタッチは禁止とする。（チームメンバー同士でも禁止）
- アピールは拳手により行う。（各ボックスにアピール用の旗「赤旗」は置かない）
- こまめな水分補給を行う。
- スコアカードを記入する鉛筆・ペンは各自で用意する。
- 選手はコンソールモニターには触らない。（次のゲームへ進む場合は審判員またはセンタースタッフを呼ぶ）
- 応援者の声援は禁止する。
- 競技中に叫んだり、大声を出すのは禁止する。
- 他選手の競技用具には触れない。（スペアボールを渡すなど）
- 競技終了後は必ず手洗いをし、発生したゴミは必ず各自で処分する。

<開会式>

- ボウラースベンチ内の選手、役員はマスクを着用する。
- ボウリングシューズは各自のものを使用する。

<表彰式>

- オフィシャルカメラマン以外の記念撮影は禁止とする。（公式SNS等で写真・映像を公開する）
- ボウリングシューズは各自のものを使用する。
- 選手は基本的にマスクを着用する。（写真撮影時のみ外す）
- ※ プレゼンターはマスクを着用する。メダルは選手の首にかけずに手渡し（受け取った選手が各自で首にかける）、握手はしない。